

環境経営レポート



大和市リサイクル事業協同組合

2023年7月1日

(2022年4月1日～2023年3月31日)

目 次

① 組合の概要	P. 3～6
② 対象範囲	P. 7
③ 環境経営方針	P. 8
④ 環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績	P. 9～11
⑤ 環境経営計画(取組内容)	P. 12～18
⑦ 環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容	
⑧ 訴訟等の有無及び環境関連法規への違反	P. 19
⑨ 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果	P. 20

①組合の概要

名 称	大和市リサイクル事業協同組合	
住 所	神奈川県大和市柳橋 5-13-9	
代 表 者	代表理事 三森 正道	
環境管理責任者 及び担当者	川野 明子 046-269-9905(柳橋エコセンター)	
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日	
出 資 金	182,600,000 円(令和 4 年度末)	
売 上 高	705,994,709 円(令和 4 年度末)	
延べ床面積	844.11 m ²	
事業所及び 理事・従業員内訳 (令和5年7月現在)	理事 5 名(代表理事 1 名・副理事長 1 名・専務理事 1 名・理事 2 名)	
	柳 橋 エコセンター	社員 6 名 パート従業員 2 名
	大 和 市 資 源 選 別 所	社員 11 名 パート従業員 10 名
	リ サ イ ク ル 未 来 館	社員 2 名 パート従業員 0 名
	直接搬入ごみ受入施設	社員 3 名 パート従業員 2 名
	合計 41 名(理事 5 名 社員 22 名 パート従業員 14 名)	
設 立 主 旨	<p>家庭から排出される廃棄物は、生活様式の変化向上や増加等によって、量の増大と質の変化をもたらしました。この為近年の急激なごみの増大は、自治体の廃棄物処理事業に多大な影響を与えています。</p> <p>こうした中、大和市においても「分けて分別・ごみ減量」の標語のもと、各家庭からのごみの減量化再利用を積極的に推進しています。また、我々資源回収業者も、市、住民(自治会、町内会)と一体となった資源分別回収事業を実施、現在では地域住民に定着しております。</p> <p>しかしながら、今後益々増大するであろう資源回収に係わる事業に対し、合理的な回収と効率的な管理システムが不可欠となってまいります。この為、我々全体の力を結集させる為、中小企業等協同組合法に基づく協同組合を設立し、協同回収事業及び共同購買事業を行う事を計画いたしました。</p>	
業 種	再生資源卸売業	

<一般廃棄物処理業許可証>

許可取得年月日	令和4年3月22日		
許可内容	期限	業の種類	許可番号
	令和6年3月31日	一般廃棄物収集・運搬	第111号
営業許可期間	令和4年4月1日から令和6年3月31日		
登録車両	車両形式	台数	最大積載量(kg)
	2トントラック	25台	2,000kg
	3トントラック	4台	3,000kg
収集運搬処分の区分	収集運搬		
処理実績	令和4年度は受託した産業廃棄物の実績はない		

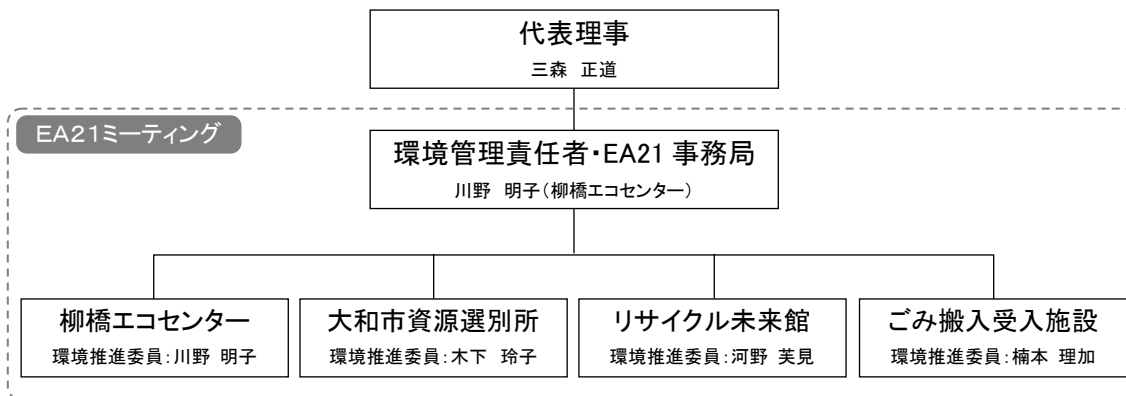
<事業用自動車>

登録車両	車両形式	台数
	パッカー車	7台
	軽トラック	2台

<事業の規模>

活動規模	単位	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
処理量	t	9,876	10,257	10,652	10,143
売上高	百万円	705	617	533	530
従業員	人	34	42	45	48
床面積	m ²	844.11	844.11	844.11	844.11

◆EA21実施体制

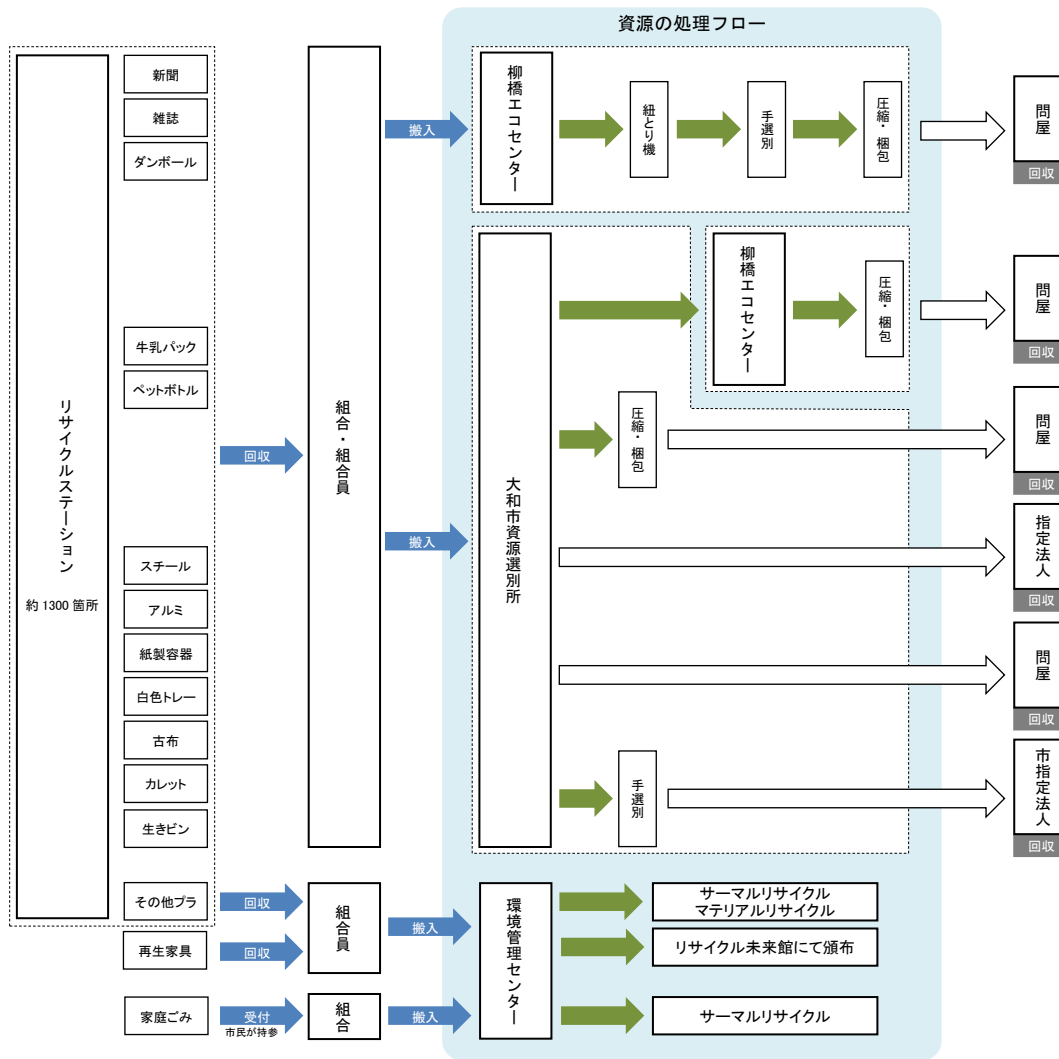


職名	役割
代表理事	① 環境管理責任者の任命を行い、必要な権限を与える ② 環境経営方針を制定し、定期的に見直しを行い指示をする ③ 環境経営システムを構築し、運用するために必要な経営資源の提供 ④ 経営における課題とチャンスの明確化 ⑤ 代表者による見直し
環境管理責任者	① 環境経営システムを構築し、運用する為に EA21 ミーティングを運営する ② EA21 ミーティングを運営し、状況を代表者に報告する ③ 環境課題に対する審議内容を代表者に報告する ④ 環境側面及びその量的把握 ⑤ 環境安全についての従業員の啓発、教育研修実施
EA21 ミーティング 環境推進委員	① 環境経営計画の推進、関連法規の調査、適応法規の評価登録 ② 遵守状況の把握及び委員会の運用維持に関する審議決定 ③ 各部における環境活動の推進 ④ 各職場における環境経営計画の推進
EA21 事務局	① EA21 ミーティングにおける決定事項を全従業員に徹底して周知する ② 文章記録の保管

◆事業施設及び事業内容及び品目

柳橋エコセンター
大和市一般家庭及び事業所より発生する資源の集積加工業務 新聞 雑誌 布類 シュレッダー ダンボール
事業系古紙 新聞 雑誌 コピー用紙 パンフレット カタログ 禁忌品以外の普通紙 禁忌品以外のシュレッダー ダンボール
大和市資源選別所
大和市一般家庭より発生する資源の収集加工業務 ペットボトル 新聞 雑誌 布類 ダンボール 植物性廃食用油 たい肥 アルミ缶 スチール ビン 白色トレー 紙パック
リサイクル未来館
リサイクル家具類の展示・抽選販売
ごみ搬入受入施設
大和市在住者の家庭より発生したゴミの受入業務 (処理手数料10kgごとに200円)

◆処理施設<処理品目・処理方式・処理工程図>



〔エコセンター〕

- ・プレス機 (処理品目:新聞・雑誌・牛乳パック・段ボール)

渡辺鉄工(株) 油圧式プレス古紙圧縮梱包機 ラージベール LB2000 シリーズ ×1台

処理量 最大 1h/ 20t

〔資源選別所〕

- ・プレス機 (処理品目:スチール缶・アルミ缶)

株式会社北町機械 CPI25050-11 ×1台

処理量 1h/ 20ブロック

- ・コンベア (処理品目:カレット/色付きビン・透明ビン)

株式会社テクノリンクス 500W-3M

②対象範囲

認証・登録の範囲：全事業をエコアクション21活動の対象とする。

対象事業所：柳橋エコセンター

〒242-0022神奈川県大和市柳橋5-13-9

ただし、以下の事業所でもエコアクション21の活動を行う。

大和市資源選別所

〒242-0029神奈川県大和市上草柳563-11

リサイクル未来館・ごみ搬入受入施設

〒242-0026神奈川県大和市草柳3-12-1

事業内容

共同施設の設置並びに管理運営、資源にかかわる業務の共同受注、資源の共同加工及び販売、資材及び消耗品の共同購入、組合員に対する教育及び情報の提供、組合員の福利厚生に関する事業

③ 環境経営方針

基本理念

当組合は、「地球の資源と環境を守る」をモットーに、リサイクルが市民生活の一部となるよう、大和市の資源分別回収業務を主な業務として、地域の様々なリサイクル活動に協力し、廃棄物を抑制するとともに、資源の再利用を促進する循環型社会の構築を目指します。

行動指針

当組合は、基本理念の実現を目指し、環境に関連する法規制及び周辺地域の環境条例、その他事業活動にあたって遵守しなければならない規制を守り、環境経営目標の設定と評価、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、下記のことを行動指針とします。

- (1) 資源分別回収における啓発活動によって、資源の回収量を増やし、ごみ減量化及び資源化推進に取り組めます。
- (2) 地域と地球環境保全のため、節電、省エネ運転、廃棄物の減量、節水に努めます。
- (3) 組合で利用・消費する物品については、環境に配慮した製品を優先的に購入します。
- (4) 当組合の組合員及び全職員に環境経営方針を周知し、環境保全の意識を高めるよう努力します。
- (5) 環境経営方針は一般の方にも公開します。

改定日 2021年10月12日
大和市リサイクル事業協同組合
理事長 三森 正道

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

[柳橋エコセンター]

No.	区分	基準年度	年度目標	年度実績	評価	中期目標	
		2020年度	2022年度			2023年度	2024年度
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg)	45,492	44,582 基準年度実績 比較2%削減	47,464	×	44,127 基準年度実績 比較3%削減	43,672 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 22,291	上半期 23,732	×		
			下半期 22,291	下半期 23,732	×		
2	電気使用量の削減 (kWh)	72,981	71,521 基準年度実績 比較2%削減	76,995	×	70,792 基準年度実績 比較3%削減	70,062 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 35,761	上半期 36,890	×		
			下半期 35,761	下半期 40,105	×		
3	燃料(ガソリン)の削減 (ℓ)	226.7	222 基準年度実績 比較2%削減	116.1	○	220 基準年度実績 比較3%削減	218 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 111.1	上半期 45.1	○		
			下半期 111.1	下半期 71.0	○		
4	燃料(軽油)の削減 (ℓ) *構内使用量重機の燃料削減	4,897.0	4,799 基準年度実績 比較2%削減	5,089.0	×	4,750 基準年度実績 比較3%削減	4,701 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 2,399.5	上半期 2,544.0	×		
			下半期 2,399.5	下半期 2,545.0	×		
5	廃棄物排出量の削減 (kg)	66.8	65 基準年度実績 比較2%削減	59.1	○	65 基準年度実績 比較3%削減	64 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 32.7	上半期 28.3	○		
			下半期 32.7	下半期 30.8	○		
6	水道量の削減 (m³)	172	169 基準年度実績 比較2%削減	159	○	167 基準年度実績 比較3%削減	165 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 84	上半期 81	○		
			下半期 84	下半期 78	○		
7	紙使用量の削減 (枚)	29,589	28,997 基準年度実績 比較2%削減	30,622	×	28,701 基準年度実績 比較3%削減	28,405 基準年度実績 比較4%削減
			上半期 14,499	上半期 16,895	×		
			下半期 14,499	下半期 13,727	○		
8	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買継続	重視購買継続

① 購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2021年度 東京電力エナジーパートナー㈱の排出係数0.441(kg-CO2/kWh)を使用し、算出した。
化学物質の使用はありません。

② 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。

③ 【廃棄物排出量について】自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。

④ 中期目標について、2020年度までは2014年度を基準年度としていたが、熱中症対策、従業員の高齢化、人員不足等労働環境の大きな変化、働き方改革実行に伴い、2021年度からは、基準年度を2020年度実績に変更し目標管理することにした。

<未達成理由・是正措置>

区分	未達成理由	是正措置
二酸化炭素 排出量	電気使用量 エコセンター建物の老朽化(雨漏りによるカビ対策)による冷暖房稼働時間増加	エコセンター屋上防水工事、クロス貼り替えの実施
	燃料(軽油) 従業員の高齢化による冷房稼働時間増加、設定温度上げ下げの頻度増	スポットクーラーと空調服の最大限の活用
紙使用量	フォークリフトの燃料使用量増	ミーティングや朝礼で燃費向上技術の習得、フォークリフトの清掃・点検の励行遵守
	資源選別所職員入退職状況による業務分担増加	電子化やリモートの推進

[大和市資源選別所]

区分	基準年度	年度目標	年度実績	評価	中期目標	
	2020年度	2022年度			2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減 (kg)	173,242	169,777 基準年度実績 比較2%削減	126,102	○	168,045 基準年度実績 比較3%削減	166,312 基準年度実績 比較4%削減
		上半期 84,889	上半期 63,051	○		
		下半期 84,889	下半期 63,051	○		
電気使用量の削減 (kWh) 対象:組合所有駐車場 (他電力は市負担となり全体把握できず)	630 ※基準年度 2021年度	624 基準年度実績 比較1%削減	698	×	617 基準年度実績 比較2%削減	611 基準年度実績 比較3%削減
		上半期 312	上半期 348	×		
		下半期 312	下半期 350	×		
燃料(ガソリン)の削減 (ℓ)	3,420.5	3,352.1 基準年度実績 比較2%削減	3,557.4	×	3,318 基準年度実績 比較3%削減	3,284 基準年度実績 比較4%削減
		上半期 1,676.0	上半期 1,930.1	×		
		下半期 1,676.0	下半期 1,627.3	○		
燃料(軽油)の削減 (ℓ) *構内使用量重機の燃料削減	56,694.4	55,560.5 基準年度実績 比較2%削減	45,558.6	○	54,994 基準年度実績 比較3%削減	54,427 基準年度実績 比較4%削減
		上半期 27,780	上半期 23,305.0	○		
		下半期 27,780	下半期 22,253.7	○		
廃棄物排出量の削減 (kg)	182.5	178.9 基準年度実績 比較2%削減	58.2	○	177 基準年度実績 比較3%削減	175 基準年度実績 比較4%削減
		上半期 89.4	上半期 30.0	○		
		下半期 89.4	下半期 28.2	○		
紙使用量の削減 (枚)	53,673	52,600 基準年度実績 比較2%削減	48,342	○	52,063 基準年度実績 比較3%削減	51,526 基準年度実績 比較4%削減
		上半期 26,300	上半期 25,381	○		
		下半期 26,300	下半期 22,961	○		
グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買継続	重視購買継続

購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2021年度 東京電力エナジーパートナー(株)の排出係数0.441(kg-CO2/kWh)を使用し、算出した。
化学物質の使用はありません。

年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。

【廃棄物排出量について】自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。

中期目標について、2020年度までは2014年度を基準年度としていたが、熱中症対策、従業員の高齢化、人員不足等労働環境の大きな変化、働き方改革実行に伴い、2021年度からは、基準年度を2020年度実績に変更し目標管理することにした。

<未達成理由・是正措置>

区分	未達成理由	是正措置
電気使用量	事務棟の建替え、引越し等により駐車場利用増加	節電対策の強化
燃料(ガソリン)	事務棟の建替え、引越し等によりコンテナなど移動増加 フォークリフト新入オペレーター増加、個々の運転のばらつき	急加速を控え燃費向上運転の徹底、アイドリングストップ遵守

[リサイクル未来館・ごみ搬入受入施設]

No.	区分	基準年度	年度目標	年度実績	評価	中期目標		
		2020年度	2022年度			2023年度	2024年度	
2	廃棄物排出量の削減 (kg)	61.7	60.5 基準年度実績 比較2%削減	27.7	○	59.8 基準年度実績 比較3%削減	59.2 基準年度実績 比較4%削減	
			上半期	30.2	上半期	12.4	○	
			下半期	30.2	下半期	15.3	○	
3	紙使用量の削減 (枚)	13,138	12,875 基準年度実績 比較2%削減	6,360	○	12,744 基準年度実績 比較3%削減	12,612 基準年度実績 比較4%削減	
			上半期	6,438	上半期	3,226	○	
			下半期	6,438	下半期	3,134	○	
4	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買継続	重視購買継続	

① 購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2021年度 東京電力エナジーパートナー㈱の排出係数0.441(kg-CO₂/kWh)を使用し、算出した。
化学物質の使用はありません。

② 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。

③ 【廃棄物排出量について】自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。

④ 中期目標について、2020年度までは2014年度を基準年度としていたが、熱中症対策、従業員の高齢化、人員不足等労働環境の大きな変化、働き方改革実行に伴い、2021年度からは、基準年度を2020年度実績に変更し目標管理することにした。

⑤環境経営計画（取組内容）
 ⑦環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容
 [柳橋エコセンター]

No.	区分	取組内容	実施	次年度の取組内容
①	電気使用量の削減	エアコンの温度設定(夏:28°C・冬:20°C)	○	引き続き継続する
		クールビズ・ウォームビズポスターの掲示	○	引き続き継続する
		不使用時のPCモニターの電源を切る	○	引き続き継続する
②	燃料(ガソリン)の削減	公用車運転時の適切なコース設定	○	引き続き継続する
		エコドライブの実施	○	引き続き継続する
③	燃料(軽油)の削減	フォークリフトのアイドリングストップ	○	引き続き継続する
		エコドライブの実施	○	引き続き継続する
④	廃棄物排出量削減	資源化の徹底(分別の徹底)	○	引き続き継続する
		分別徹底用のポスター掲示	○	引き続き継続する
⑤	水使用量の削減	トイレの節水	○	引き続き継続する
		節水ポスターの掲示	○	引き続き継続する
⑥	紙使用量の削減	印刷時の裏紙使用の徹底	○	引き続き継続する
		裏紙使用推進ポスターの掲示	○	引き続き継続する
⑦	グリーンマーク	グリーンマーク重視購買	○	引き続き継続する
⑧	資源回収啓発活動 〔大和市民まつり 大和産業フェア等〕	大和市民まつり、大和産業フェア、神奈川大和阿波おどりの各催し物会場にて、幼児から大人まで資源再生の理解と協力を得る為の参加型分別ブースと、再生後の活用品目講座を行い、資源の有効活用の周知に努め、今後も同イベントに継続参加し、啓発活動を行う。	※1 —	引き続き継続する

※1 ④資源回収啓発活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止

[その他実施した主な取組]

- ・軍手や制服等備品の効率使用による廃棄物削減
- ・ミーティングでの目標管理の周知徹底
- ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的
に実施

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表（四半期に1回以上） (2022年度)				
点検項目	2022年		2023年	
	4月	7月	10月	1月
室外機				
①異音・振動	有	無	有	無
②油等のにじみ、洩れ	有	無	有	無
③大きな錆・破損	有	無	有	無
④その他				
室内機				
⑤異音・振動	有	無	有	無
⑥冷暖房の調整ができない	有	無	有	無
⑦その他				
異常があった機器と状況				
対策内容と終了日				
点検者	川野明子	川野明子	川野明子	川野明子
点検日	2022.4.28	2022.7.28	2022.10.28	2023.1.27

エコセンター 対象機器
 対象機器 ★エアコン：5台（1台は通常エアコン）
 A：1階事務所
 B：2階理事長室
 C：2階リサイクル工房
 D：3階会議室
 E：1階休憩室（通常エアコン）
 ★室外機：5台
 F：台貫機
 G：休憩室窓側①
 H：休憩室窓側②
 I：休憩室窓側③
 J：休憩室窓側④（通常エアコン用室外機）

室外機配置図
1階

[大和市資源選別所]

No.	区分	取組内容	実施	次年度の取組内容
①	電気使用量の削減	エアコンの温度設定(夏:28℃・冬:20℃)	○	引き続き継続する
		クールビズ・ウォームビズポスターの掲示	○	引き続き継続する
		不使用時のPCモニターの電源を切る	○	引き続き継続する
②	燃料(ガソリン)の削減	公用車運転時の適切なコース設定	○	引き続き継続する
		エコドライブの実施	○	引き続き継続する
③	燃料(軽油)の削減	パッカー車運転時の適切なコース設定	○	引き続き継続する
		エコドライブの実施	○	引き続き継続する
④	廃棄物排出量削減	資源化の徹底(分別の徹底)	○	引き続き継続する
		分別徹底用のポスター掲示	○	引き続き継続する
⑤	水使用量の削減	トイレの節水	○	引き続き継続する
		節水ポスターの掲示	○	引き続き継続する
⑥	紙使用量の削減	印刷時の裏紙使用の徹底	○	引き続き継続する
		裏紙用紙の保存箱をコピー機横へ設置	○	引き続き継続する
⑦	グリーンマーク	グリーンマーク重視購買	○	引き続き継続する
⑧	資源回収啓発活動 〔大和市民まつり 大和産業フェア等〕	大和市民まつり、大和産業フェア、神奈川大和阿波おどりの各催し物会場にて、幼児から大人まで資源再生の理解と協力を得る為の参加型分別ブースと、再生後の活用目目講座を行い、資源の有効活用の周知に努め、今後も同イベントに継続参加し、啓発活動を行う。	※1 —	引き続き継続する

※資源選別所の水使用量については大和市役所が管理しており、こちらでは使用量の把握ができないため目標設定せずに、節水の取組に努めている。

※1 ④資源回収啓発活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止

[その他実施した主な取組]

- ・プレス機器類の効率的稼働
- ・パッカー車両の駆動系の早朝メンテナンスの実施
- ・パッカー車の燃費向上に寄与するミックスタイヤの使用
- ・フォークリフトの日常メンテナンスの講習実施
- ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的

改正フロン法:業務用エアコン 簡易点検表(四半期に1回以上)				
(2022年度)				
点検項目	2022年		2023年	
	4月	7月	10月	1月
①異音・振動	有	無	有	無
②油等のにじみ、洩れ	有	無	有	無
③大きな錆・破損	有	無	有	無
④その他	有	無	有	無
⑤異音・振動	有	無	有	無
⑥冷暖房の調整ができない	有	無	有	無
⑦その他	有	無	有	無
異常があった機器と状況				
対策内容と終了日			10月より仮事務所へ移動したため点検なし	10月より仮事務所へ移動したため点検なし
点検者	木下 玲子	木下 玲子		
点検日	2022/4/28	2022/7/28		

資源選別所 対象機器

- ・店舗用パッケージエアコン2台(A・B)
- ・ビル用マルチエアコン2台(C・D)
- ・室外機4台(A'~D')

[リサイクル未来館・ごみ搬入受入施設]

No.	区分	取組内容	実施	次年度の取組内容
①	廃棄物排出量削減	資源化の徹底(分別の徹底)	○	引き続き継続する
		分別徹底用のポスター掲示	○	引き続き継続する
②	紙使用量の削減	印刷時の裏紙使用の徹底	○	引き続き継続する
		コピー機に裏紙専用給紙トレイを設定	○	引き続き継続する
③	グリーンマーク	グリーンマーク重視購買	○	引き続き継続する
④	資源回収啓発活動 〔大和市民まつり 大和産業フェア等〕	大和市民まつり、大和産業フェア、神奈川大和阿波おどりの各催し物会場にて、幼児から大人まで資源再生の理解と協力を得る為の参加型分別ブースと、再生後の活用品目講座を行い、資源の有効活用の周知に努め、今後も同イベントに継続参加し、啓発活動を行う。	※1 —	引き続き継続する

※未来館・受入施設の電気使用量・水使用量については大和市役所が管理しており、こちらでは使用量の把握ができないため目標設定せず、節電・節水の取組に努めている。

※1 ④資源回収啓発活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止

[その他実施した主な取組]

- ・来客状況に合わせた室内灯および空調使用の制限
- ・省エネ対策として、蛍光灯の間引き実施
- ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的にも実施

点検項目	2022年		2023年	
	4月	7月	10月	1月
室外機				
①異音・振動	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
②油等のにじみ、洩れ				
③大きな錆・破損				
④その他				
室内機				
⑤異音・振動	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
⑥冷暖房の調整ができない				
⑦その他				
異常があった機器と状況				
対策内容と終了日				
点検者	種本	種本	種本	種本
点検日	2022/4/30	2022/7/30	2022/10/31	2023/1/31

点検項目	2022年		2023年	
	4月	7月	10月	1月
室外機				
①異音・振動	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
②油等のにじみ、洩れ				
③大きな錆・破損				
④その他				
室内機				
⑤異音・振動	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
⑥冷暖房の調整ができない				
⑦その他				
異常があった機器と状況				
対策内容と終了日				
点検者	河野	河野	河野	河野
点検日	2022/4/30	2022/7/30	2022/10/29	2023/1/31

2022年10月～2023年2月 資源選別所事務棟建替え、舗装工事実施

平成6年1月に開所した大和市資源選別所の老朽化した事務棟とアスファルト舗装の改修工事が約半年をかけて実施された。



旧事務棟



旧事務棟 1階



旧事務棟 1階



旧事務棟 2階



仮設事務所 設置工事



仮設事務所と旧事務棟



ペットボトル選別棟前 アスファルト工事



市民持込み駐車スペースや構内のライン引き



新事務棟 完成
市民受付スペースに庇を設置して雨風に対応



電気使用量削減と熱中症対策として スポットクーラー・空調服を活用



市民の急病やケガに備え救命訓練を実施 A E D 講習



第30回通常総会（2022年度の事業報告） 節目となる第30回通常総会 無事に終了



(株)商工組合中央金庫様より、30周年にあたり、永年にわたる共同事業実施による組合員の発展、地域経済発展への貢献において感謝状の授与が執り行われた。

3 ヶ月に1度フェアを開催。来館者増を期待しPR用のポスターを作成した。また、家具の展示方法を工夫し、家具の配置やレイアウトの提案を行った。



フェアポスター



家具の配置やレイアウトの提案



館外への来館促進POPの掲示

⑧訴訟等の有無及び環境関連法規への違反

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去5年間ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

文書④⑬環境関連法規等のとりまとめと遵守状況

最新である事の確認	2023年4月1日
	氏名 川野 明子

適用となる主な環境関連法規

番号	法規等の名称	適用対象場所	適用対象物	届出	管理	確認結果		遵法性確認 実施年月日	
						組合	組合員	確認	
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	柳橋エコセンター	一般廃棄物	なし(大和市扱い)	事務局が大和市との窓口	遵守	遵守	2023年4月1日	
2	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	柳橋エコセンター	プレス機(油圧式)	設置許可申請 許可証	事務局 事務局	遵守 遵守	遵守 遵守	2023年4月1日	
※指定事業所の設置第3条第1項									
3	騒音規制法	柳橋エコセンター	圧縮梱包機	無(規制対象外)	現場	遵守	遵守		
※事業場から出る騒音―神奈川県条例第32条									
4	振動規制法	柳橋エコセンター	圧縮梱包機	無(規制対象外)	現場	遵守	遵守		
※事業場から出る振動―神奈川県条例第32条									
5	自動車NOX・PM法	柳橋エコセンター	公用車	車検証	事務局	遵守	遵守	2023年4月1日	
			資源選別所	公用車、パッカー車、軽トラック	車検証・定期点検記録簿	事務局及び運行管理者	遵守		遵守
			柳橋エコセンター	フォークリフト	定期点検記録簿	整備管理者	遵守		遵守
			資源選別所	フォークリフト	定期点検記録簿	整備管理者	遵守		遵守
※第1章 第4条 規制該当車両の使用禁止 第12条									
6	自動車リサイクル法	柳橋エコセンター	公用車	車検証	事務局	遵守	遵守	2023年4月1日	
		資源選別所	公用車、パッカー車、軽トラック	車検証	事務局	遵守	遵守		
※使用済みとなった自動車を引取業者に引渡すこと(H8) ※リサイクル費用を資金管理人に対し預託すること(H73) ※管理表交付は不要(H122・14)									
7	グリーン購入法	柳橋エコセンター 資源選別所	グリーン購入法対象事務用品	無	事務局	遵守	遵守	2023年4月1日	
※19分類 266品目に該当									
8	消防法	柳橋エコセンター	工場棟	自動火災報知設備	消防用設備等検査済証・事業場	事務局	遵守	遵守	2023年4月1日
			消火器具	消防用設備等検査済証・工場					
			事務棟	消防用設備等着工届出書					
			避難器具(援降機)	防火対象物使用開始届出書					
			誘導灯						
			消火器具						
※消防法第17条および消防法施行規則第31条の3									
9	大和市火災予防条例	柳橋エコセンター	工場棟	自動火災報知設備	防火対象物使用開始届出書	事務局	遵守	遵守	2023年4月1日
			消火器具						
			事務棟						
			避難器具(援降機)						
			誘導灯						
			消火器具						
※大和市火災予防条例43条および大和市火災予防規則第20条									
10	容器包装リサイクル法	資源選別所	施設全体	大和市との契約書	理事長	遵守	遵守	2023年4月1日	
※容器包装廃棄物の分別収集に関する省令 第2条									
11	道路交通法	組合全体	組合登録トラック、パッカー車、軽トラック、公用車	各自免許証を組合、運行管理責任者に提出、事業用自動車運転手には国土交通省指示の講習並びに、運転記録証明書の提出。	運行管理者	遵守	遵守	2023年4月1日	
※									
12	小型家電リサイクル法	組合全体	レアメタルを有する小型家電	大和市との契約書	大和市	遵守	遵守	2023年4月1日	
※環境・経産省令 第3号									

※評価は「現状の取り組みのままでも今後も遵法性を保つ事ができるかどうか」を評価する

⑨代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果

	⑧代表者による全体の評価と見直し 結果報告書	作成月日	作成者
		2023年6月1日	川野
見直し対象期間	2022年4月1日～2023年3月31日		
見直し実施月日	2023年6月1日 (定期) 臨時)		
出席者	理事長 三森正道 環境管理責任者 川野		
提出資料名	①環境経営目標の達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの環境に関する苦情や要望 (地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要請等も含む) ⑤その他(法規制の動向の情報など)		
見直し結果	①環境経営方針の変更の必要性 (有り・ 無し) 改善担当者:川野 期限: ②環境経営目標の変更の必要性 (有り ・無し) 改善担当者:川野 期限: 11/1 資源選別所フォークリフト新車納車後 燃料(軽油)目標値変更 ③環境経営計画の変更の必要性 (有り・ 無し) 改善担当者:川野 期限: ④環境経営システム等の変更の必要性 (有り・ 無し) 改善担当者:川野 期限:		
総括	①前回の指示への取組結果 ・エコアクション21実施体制と代表者の役割において、「経営における課題とチャンスの明確化」を追記するよう前回の中間審査でコメントを頂いたため、代表者の役割として、経営における課題とチャンスの明確化を追記した ・環境経営目標の管理について、上半期でデータを確認し、未達成の目標は活動の強化を図ったが、やはり未達成となってしまう活動項目があるため、当組合で達成が難しい電気使用量削減や軽油の削減については、外部機関等のアドバイスを受け、さらにレベルアップした活動を推進していくことを指示した ②今回の評価結果及び指示内容等 ・当組合は、エコアクション21の対象事業所は柳橋エコセンターだけであるが、環境経営の取り組みは全施設総合的に取り組んでおり、職員の前向きな取り組みには評価できるが、環境経営目標の達成度合いについては、全施設トータルでは達成できていても、対象事業所では達成できない活動項目があるため、やはり総合的に目標達成できるよう、役員・組合職員一丸となって再度環境経営取り組むよう、改めて指示した。 ・組合職員に正職員が増員となり、中長期的な活動に取り組むことが可能となったため、年度の取り組みだけでなく、3年、5年と長期にわたり活動できる目標やテーマを検討するよう指示をした。 ・本年10月に資源選別所で使用するフォークリフト(燃料:軽油)の新車1台が納車予定であり、2台→3台に増車となり、燃料増が見込まれるが、作業の効率化や従業員の技術向上や意識改革に繋がる事は明確であり、環境と経営のバランスを考えた取り組みをするよう指示した。 ・役員会等会議の資料については、プロジェクターを活用し、紙資料を最低限にするよう指示した。		